

# 高勿来 同窓会報

第53号  
発行 者  
勿来高等学校  
同 窓 会  
いわき市勿来町  
窪田町通2の1  
県立勿来高等  
学 校 内

改姓・勤務先・住所  
変更は速やかに事務局  
までご連絡下さい。  
TEL (0246)  
65 - 2221



## 祝 ご卒業

同窓会会長 金 成 武 夫

今年もまた、新たな卒業生の旅立ちの日を迎える季節になりました。振り返れば、あっというまの高校生活だったのではないですか。この三年間で、先生、先輩、同級生、後輩と強い絆で結ばれたのではないのでしょうか。

晴れて卒業を迎えられた皆さんに、心からお祝い申し上げます。又、伝統ある勿来高校の同窓会員として、皆

さんを新しくお迎えできることを、非常に嬉しく思っております。卒業は一つの節目であり、本校で身に付けた、知性と教養をもとに、相手の立場に立って何事にも知恵をだし、努力して強く歩んでほしいと思います。

そして世の中から必要とされる人間になって下さい。さて、平成二十三年三月の東日本大震災からまもなく

六年が経過しようとしております。復興・創世期間へ移行し、復興まちづくりが本格化してきて、明るい光が見えてきたのではないのでしょうか。

本校は創立五十年、六十年が経過し、その都度新しい歴史がつけられ二十七年一月には、東北、県内初めてとなる交通安全国民運動中央大会で交通安全優良学校賞を受賞し、六月には、全校生徒が参

加して、勿来高校地域安全協力隊が発足し、現在、地域で素晴らしい活躍をされており、地域の人々から期待されております。また、四月にいわき養護学校くぼた校が開校になり、新たな一ページが加わりました。

本校が伝統、歴史を重んじながら、新しい歴史に向かって進んでいる事を強く感じております。

創立七十周年誠にありがとうございます。私は、平成九年に創立五十周年の記念事業に関わらせていただいたひとりですが、一言で「えらい大変だった」という実感をもっています。

冷暖房設備等に決めたことを思い出しました。この建設には、同窓生である業者様が大きな協力をされ、達成できたことを忘れたことはありません。今でも大変感謝していま

少にあることを考えれば、今後の維持管理に対し、手当することも急務ではないかと思ひます。



## 創立七十周年を迎えて

前同窓会会長 緑 川 恵 男  
(昭和三十七年卒業)

資金をはじめ、実行委員の選任や計画書等数多くの事柄を決定し進めることの難しさに直面しました。特に実行委員は市内の方が大半でしたが、会議も多く働

母校の前を通るとき、同窓会館も老朽化が進み維持管理が大変だろうと感じています。また近年生徒の数等も減

ました。当時いろいろお世話になった方々の顔がページをめくると次々と浮かんできま



昭和28年当時の校舎

## 創立七十周年 記念事業について

【記念事業の概要】

日 時 平成二十九年十一月十一日(土)

記念講演会 十時

(於・本校第二体育館)

記念式典 十三時

(於・本校第二体育館)

記念祝賀会

十七時

(於・ホテル椿山荘)

記念事業

・ 記念誌の刊行

・ 同窓会館修繕事業

・ 同窓会館・バス維持事業

・ 記念品寄贈

同窓生の皆様へお願い

今後、実行委員会では募金活動を行ってまいります。趣旨をご理解の上、多くの同窓生の皆様の御協力を何卒よろしくお願い申し上げます。

こちらをお読み頂き、ご協力を頂ける方は、本校まで御連絡下さい。

【連絡先】

〇二四六―六五―二二二一

担当：関



本年は、本校の創立七十周年の年にあたります。この間一二、四六〇名の優位な卒業生を社会に輩出しており、記念式典や記念行事等で、同窓の皆様のご協力をいただくことも多くなる一年となると思っております。



### 「本校の創立七十周年の年にあたり」

校長 吉村 淳

聞きました。私は、北郷氏とまったく面識がございませんが、誠に僥越ではございませんが北郷氏の情報をネットで調べさせていただきました。北郷氏は、東京芸術大学教授の職にあり、今年、東京

折り、学校医の佐藤先生（佐藤マタニティークリニックス院長）との話の中で、本校の卒業生に北郷悟氏（昭和四十六年三月卒業）がいると教えていただきました。東京芸術大学教授で、彫刻家として活躍されているという話を

芸術大学学長特別補佐という重責を担う先生です。彫刻家としては、「コンスタンティン・ブランクーシ大賞奨励賞」をはじめ数々の賞を受賞されています。また、いわき市彫刻のある街づくり委員の任にあるとともに、いわき市内の

本校同窓生の活躍は、なかなか高校ではよく分からないのが実情です。創立七十周年の記念の年に、同窓の方々の活躍話を数多く聞きたいものだと思います。また、同窓の方々の活躍を本校生に伝えていきたいと思っております。

### 勿来高校地域安全協力隊、生徒会活動

平成二十七年六月、地域の交通安全や防犯活動に取り組む勿来高校地域安全協力隊が発足しました。いわき南警察署から隊員の委嘱を受けた勿来高校の生徒全員が、季節ごとに行われる交通安全運動、

子ポランティア、サイクルガードリーダーによるツーロック運動などの取り組みを推進しています。二年目の今年は、四月中旬にマルト窪田店で行われた春の交通安全キャンペーンを皮切りに、非行防止万引き防止街頭キャンペーン、交通事故防止県民総ぐるみ運動出動式、秋の交通安全キャンペーンなどの防犯活動や交通安全に関わる地域活動に積極的に参加しました。



この地域安全協力隊の中核となつて活動しているのが勿来高校生徒会です。生徒会長の浅井将哉君を中心に多くの生徒会役員が熱心に活動に取

街並みに数多くの作品を出品されています。特に駅周辺では、いわき駅前「星を見る人」「潮風」・湯本駅前「遠い国」・植田駅前「いざなぎ、いざなみ」・そして、勿来駅前「八幡太郎義家騎馬像」が展示されています。本当に身近な所に先生の作品があることが判りました。

この活動以外にも生徒会では、赤い羽根共同募金活動に取り組んだり、十二月末には勿来駅前の子広場で餅つき大会の活動に参加しながら、地域との交流を深めました。また、県立いわき養護学校の文化祭「風と雲の祭り」やいわきシーサイドウォークでは運営補助として活躍しています。



さらに、体育の授業では、本校一年生とくぼた校二・三年生が共同でダンスを作り上げました。ダンスの構成を一緒に検討したり、グループ練習・全体練習を重ねた後、総勢六十四人のプロモーションビデオをドローンで撮影し、共に一つの作品を作り上げ、

今年度は、両校の交流をさらに深めるべく、五月に大運動会を開催し、一緒に汗を流しました。また、夏には茶道部がくぼた校の皆さんを和室にお招きし、お手前を披露しました。

### くぼた校との交流

平成二十七年四月、本校内にいわき養護学校くぼた校が併設され、今年度は二年目となります。今年度は、両校の交流をさらに深めるべく、五月に大運動会を開催し、一緒に汗を流しました。また、夏には茶道部がくぼた校の皆さんを和室にお招きし、お手前を披露しました。



バレーボール部、弓道部、演劇部  
県大会出場を果たしました!



（くぼた校生が織った「さをり織」を本校家庭クラブがティッシュケースに加工する様子）



◎会則により、総会は、原則六月開催となります。  
◎多数のご出席を心よりお待ちしております。

その後、安島重利議長の進行的のもと、平成二十七年年度の事業と決算の報告、ならびに平成二十八年度の事業計画と予算案などの審議が行われ、賛成多数により承認されました。

引き続き行われた懇親会では、恩師である阿部ヨシ先生、本田勝夫先生、西牧範昌先生、三雲勝行先生、諸根浩之先生



の御出席を賜り、総勢六十名を越える賑やかな宴となりました。懇親会の冒頭では、阿部ヨシ先生による詩吟を御披露頂き、和やかな雰囲気のもと、参加者が旧交を温めあいました。最後は参加者全員で円陣を組んで校歌を声高らかに熱唱しました。

平成二十九年の同窓会総会・懇親会をより盛大に執り行うべく、準備を進めております。また、来年は七十周年の節目の年でもありますので、さらに多くに皆様の御出席をお待ちしております。

日 時  
平成二十九年六月十日(土)  
午後六時

場 所 やまたまや  
懇親会 午後六時半  
懇親会費 三、〇〇〇円

◎会則により、総会は、原則六月開催となります。  
◎多数のご出席を心よりお待ちしております。



### 卒業生の進路状況について

進路指導専事 坂口 肇

日頃より同窓生の皆様には、ご支援いただきまして誠にありがとうございます。震災による若年者の流出や、少子化による実業高校卒業生の減少。さらには、従業員の高齢化による退職者の増加。このことが県内の人手不足につながり、今年度も昨年度に引き続き県内、県外とも多くの求人をお待ちいただきました。就職の内定状況は昨年度と同じ時期と同様に内定率が九十%を超えております。さらに、一度の失敗で諦めることなく、再挑戦した生徒もおり、良い結果につながったのではないかと思います。内定後は、社会人としての心構えや常識ある行動について指導を行っております。また、未内定生徒へは、職業安定所に登録し、一般求人への応募や、進路アドバイザーの方と協力

しながら求人開拓に努め、進路の実現に向けて支援を継続しております。一、二年生では、平成二十二年から地元事業所のお世話になり実施している「インターンシップ」へ六名が参加いたしました。卒業後の進路選択につながる産業・職種への参加を制限をしたところ、希望者が減少しました。進学希望者については、ほとんどの生徒が進路希望を達成しております。進路決定後も基礎学力の向上に努め、進学先での学習を十分理解し、専門的な知識を身に付けることができるよう取り組んでいるところでもあります。最後に、同窓生の皆様方には、今後も卒業生がさまざまな場面で世話になると思いますが、ご協力をお願い申し上げます。

### 進路状況

(平成29年1月10日現在)

卒業予定者	就職		進学			
	県内	県外	4年制大学	短期大学	専門学校	各種学校
男子	27人	19人	1人	0人	4人	1人
女子	42人	17人	4人	3人	5人	1人

#### ◎内定企業名

(県内)  
㈱ユニックス北関東工場、加藤段ボール㈱いわき工場2人、㈱ことぶき  
㈱齊組工業2人、鶴見鋼管㈱、社会福祉法人ふたば福祉会、㈱マルベリー、  
㈱ユニイ、㈱太陽流通サービス、泉電設㈱、㈱昇栄4人、小泉食品㈱、  
㈱ニチイ学館、社会福祉法人ハートフルなこそ2人、㈱アコーディア・ゴルフ、  
東産産産産、社団医療法人呉羽会呉羽総合病院、㈱アサヒ自工、  
CUT CLUB VISION、中華料理福苑、㈱マルト、仲業商事(有)  
㈱ホンダオートいわき、㈱金子製作所、まがら洋菓子研究所(有)  
小松電工株式会社幸福の家校の里、日本トーカンパッケージ㈱福高工場  
プリDESTONタイヤサービス東日本㈱、Hair Relaxation anvi、  
㈱湯本スプリングスカントリークラブ  
(県外)  
㈱全木商茨城工場

#### ◎合格学校名

つくば国際大学、茨城キリスト教大学2人、明星大学、麗澤大学、いわき短期大学  
国際文化美容専門学校、水戸看護福祉専門学校2人、水戸電子専門学校、  
国際アート&デザイン大学校、東京ベルエポック美容専門学校  
鯉淵学園農業栄養専門学校、専門学校神田外語学院、  
アミューズメントメディア総合学院、郡山理容学校

### 将来の目標にむかって



三年一組 茨木 香

私には、将来管理栄養士になつて、子ども達に食の指導を行う仕事に就くという目標があります。この目標を実現するために、私は茨城キリスト教大学生活科学部食物健康科学科への進学を決めました。当初、私は受験生という自覚が足りず、受験対策のスタートが遅れてしまいました。AO入試の準備を始める段階で初めてやるべきことの多さに気付き、不安で押し潰されそうな毎日でした。特に面接と大学側から事前に与えられた科学に関する課題に悩んでしまいました。しかし、夏休みになって毎日学校に通い、担任の四家先生の的確な面接指導や、理科

### 就職試験を終えて



三年二組 板垣 竜也

私は今回、日本トーカンパッケージ株式会社福島工場に就職が内定しました。ダンボール製品や紙器製品が多くの人にとって役立つ製品であり、それらの製造を通して私も社会の役に立ちたい、と考えたからです。就職試験は私がこれまで経験したどの試験より大変で、これから社会人となることを改めて意識しました。そして、私は日頃から二つのことを意識して生活するようになりました。

一つ目は、日頃から正しい服装や生活態度、気持ちの良いあいさつや正しい敬語を心がけることです。見た目や言葉遣い一つで人の印象は大

### 同窓生の講話 進路講演会について

十月七日(金)に本校第二体育館で全校生徒及び教職員対象に進路講演会が行われました。今年度は「勿来高校卒業生として後輩に望むこと」という演題で、社会福祉法人ハートフルなこそで介護福祉士として活躍する吉田剛様を講師としてお招きしました。吉田様からは現在の職場で働くことになったきっかけ、そして、先輩職員の力を借りながら様々な資格を取得したことが、新人の指導を任せられるようになったが自身の指導について自問自答する毎日だったこと、などをお話頂きました。最後に、社会人の自身を振り返りながら、勿来高校生に望むこととして、(一)約束や決まりごとを守ること、(二)心と体の健康を保つこと、(三)向上心を持つこと、(四)あいさつをしっかりとすること、という四つのアドバイスを頂きました。いずれもすぐに取り組める内容ばかりで、先輩のアドバイスに生徒達はしっかりとメモを取りながら耳を傾けていました。

吉田様から頂いたお話は、実体験を通したとても具体的な内容で、生徒達にとって自身の進路意識や職業意識を高める良い機会となりました。

### 同窓会報協力金 協賛御礼

平成18年度より同窓会の皆様にお願ひ致しました「同窓会報協力金」ですが、本年度も多くの方々に御賛同をいただきました。心より御礼申し上げます。 ※28年2月から29年1月末に協力いただきました方を掲載させていただきます。

御協力者御芳名	
昭和27年3月卒	坪 桂一・諏佐 良三
昭和30年3月卒	渡辺 梯夫・佐藤 三弘
秋元 俊克	
昭和32年3月卒	大平 隼夫・押久保 弘
金成 洋平	
昭和33年3月卒	松本 好弘・高橋 君江
斎田 啓二	
昭和34年3月卒	三國 正義
昭和35年3月卒	助川 正敏・助川 紀子
金子 繁司	
昭和37年3月卒	緑川 恵男・薄井 克久
小林八恵子・鈴木 洋子	
伊藤 祥一・鈴木タイ子	
安島 重利	
昭和38年3月卒	村上ユキ子・荻野 浩司
藤本 君子	
昭和39年3月卒	佐藤 勝彦
昭和40年3月卒	高木 克勤・園部 明
昭和41年3月卒	赤津 隆・佐川 光由
小林 伸吾・安島 保	
北郷 清一・長久保 博	
児玉静一郎・加瀬 幸市	
木村 一・狩野 敏文	
佐竹 裕子・江崎美千代	
菅野 英子・八巻 久夫	
永山 清・高木 拓郎	
大井川正雄・栗田 節子	
蛭田美恵子	
昭和44年3月卒	加茂 博文
昭和46年3月卒	太田 浩子
昭和47年3月卒	小宅 智江・岡田 清和
昭和48年3月卒	佐藤 角子
昭和49年3月卒	大和田廣子・鈴木 憲寿
昭和50年3月卒	小堀 信夫・馬上紀美則
片桐 仁子・芳賀志津子	
渡辺 恵子	
昭和54年3月卒	諸根 浩之
昭和56年3月卒	大内 啓至
昭和57年3月卒	佐藤みつえ・磐前 康雄
昭和62年3月卒	佐藤 寛喜
昭和63年3月卒	小宅 貴則
平成2年3月卒	草野 浩一
平成15年3月卒	小峰 崇洋
平成18年3月卒	田子 哲也
平成28年度同窓会長賞受賞者	
園部 彩香	
鷲 美奈・日野 巧	
渡辺 晃太・阿部 里菜	
園部 彩香	

#### (個人の部)